

「中堅・中小企業海外安全対策ネットワーク」第7回本会合
山田賢司外務副大臣 挨拶

本日は「中堅・中小企業海外安全対策ネットワーク」第7回本会合に御出席をいただき、心から御礼申し上げます。

本ネットワークは、2016年のダッカ襲撃テロ事件を踏まえ、中堅・中小企業の海外安全対策を抜本的に強化するために設立されました。日本企業の実に99パーセント以上を占める中堅・中小企業が、海外の需要を取り込めるかは、今後の日本経済成長の鍵です。これまで、中堅・中小企業の海外展開を支えるため、皆様に大きな役割を果たしていただいていることに、改めて感謝申し上げます。

コロナ禍で国際的な人の往来が制限された過去3年間にも、世界の安全保障環境は大きく変化いたしました。昨年8月のアフガニスタン情勢の変化、本年2月から続くロシアによるウクライナ侵略の影響に加え、世界各地において治安の不安定化がみられ、海外進出にあたってはより一層国際情勢を注視する必要があります。また、テロの脅威が依然続いております。

そのような中、長らく続いた各国・地域のコロナにかかる水際措置や行動制限の緩和が進み、人の往来が再開してきています。そのこと自体、大変喜ばしいことですが、同時に海外において日本人が事件・事故に遭遇するリスクが高まる面があることもしっかりと認識しなければなりません。中堅・中小企業の海外展開が再び本格化する中で、一部団体、企業の皆様からは、社員を海外出張、駐在させるに際し、最新の国際情勢やこれを踏まえた安全対策のあり方について照会いただいております。海外における安全対策への関心や危機意識が高まっていることを強く感じます。今こそ、安全対策を一層見直すべき時が来ております。

外務省としては、企業の皆様が安心して海外でのビジネス活動を推進できるよう、引き続き、最新の安全情報の提供や安全対策見直し等のお手伝いをさせていただきます。東京の外務本省のみならず、世界各国にある在外公館でも、皆様の安全を支えるべく昼夜問わず様々な取り組みを行ってお

ります。何かあったときはもちろん、何もない平時から、ぜひ現地の在外公館にご連絡いただき、密接に連携できればと考えています。

外務省は、このネットワークに参加されている皆様と手を携え、企業関係者のお悩みに耳を傾けながら、日本人・日本企業が海外で安全、安心に活躍できるよう、しっかりと支援してまいります。

結びに、本日の会議が、本ネットワークの皆様とともに、皆様の会員組織の企業関係者を含む海外在住の日本人の安全確保のために、ともに考え、行動する場となることを心から祈念し、私からの挨拶に代えさせていただきます。

御清聴ありがとうございました。